



2026年3月期 第2四半期(中間期)決算短信(日本基準)(連結)

2025年11月11日

上場会社名 株式会社 朝日ラバー

上場取引所 東

コード番号 5162 URL <https://www.asahi-rubber.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡邊 陽一郎

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 久保田 敬之

TEL 048-650-6051

半期報告書提出予定日 2025年11月11日

配当支払開始予定日 2025年12月5日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2025年4月1日～2025年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	3,885	5.2	122	—	119	—	89	—
2025年3月期中間期	3,694	10.0	48	—	57	—	86	—

(注) 包括利益 2026年3月期中間期 0百万円 (—%) 2025年3月期中間期 27百万円 (70.4%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	19.53	—
2025年3月期中間期	18.90	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	9,775	4,833	49.4
2025年3月期	9,299	4,880	52.5

(参考) 自己資本 2026年3月期中間期 4,833百万円 2025年3月期 4,880百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2026年3月期	—	10.00	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,643	0.0	160	—	159	409.8	107	—	23.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年3月期中間期	4,618,520 株	2025年3月期	4,618,520 株
2026年3月期中間期	55,645 株	2025年3月期	55,645 株
2026年3月期中間期	4,562,875 株	2025年3月期中間期	4,561,219 株

期末自己株式数

期中平均株式数 (中間期)

第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により、上記予想値と異なる場合があります。

なお、上記予想値に関する事項は添付資料3ページをご覧ください

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当中間決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当社グループは「私たちは人を豊かにしてグローバル社会貢献度が高い技術会社になる」ことを目指し、2030年を見据えた「AR-2030VISION」を掲げています。当連結会計年度は、「AR-2030VISION」の実現に向けて2023年4月からスタートした第14次三か年中期経営計画の最終年度となり、「魅力を高め、新たな価値を提供する」を経営方針に、重点事業である光学事業、医療・ライフサイエンス事業、機能事業、通信事業のさらなる成長に注力しております。

当中間連結会計期間における事業環境も、インフレや円安による資源価格や物価上昇、米国の通商政策等により世界的に先行き不透明な事業環境が続きました。このような状況のもと当社グループは、各重点事業の将来に向けた開発投資、工場間を跨ぐ改善・合理化投資などを積極的に行うとともに、国内外関連子会社との連携を活性化させ、販売エリアの拡大による新規顧客の取り込みや新たな開発案件の受注に向けた活動に注力しました。

この結果、当中間連結会計期間の業績は、連結売上高は工業用ゴム事業、医療・衛生用ゴム事業とも販売が増加し連結売上高は38億8千5百万円（前年同期比5.2%増）となりました。利益面においては連結営業利益1億2千2百万円（前年同期は4千8百万円の営業損失）、連結経常利益は1億1千9百万円（前年同期は5千7百万円の経常損失）となりました。親会社株主に帰属する中間純利益は8千9百万円（前年同期は8千6百万円の中間純損失）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりです。

工業用ゴム事業

工業用ゴム事業では、自動車向け製品の受注は、自動車内装照明用のASA COLOR LEDの売上は採用車種の販売状況の影響により減少しましたが、スイッチ用など精密用ゴム製品の受注が増加いたしました。また、卓球ラケット用ラバーの受注は引き続き高い水準で推移し増加いたしました。自動認識機器に使用されるRFIDタグ用ゴム製品の受注も好調に推移いたしました。上期に前倒しで生産をした都合により今期後半の受注は大きく減少する見通しです。

この結果、工業用ゴム事業の連結売上高は29億3千7百万円（前年同期比2.8%増）となりました。またセグメント利益は1億4千万円（前年同期比622.7%増）となりました。

医療・衛生用ゴム事業

医療・衛生用ゴム事業では、診断・治療向けの採血用・薬液混注用ゴム栓が増加いたしました。また、医療用逆止弁、プレフィルドシリンジガasket製品、手技シミュレータ製品の受注についても堅調に推移いたしました。

この結果、医療・衛生用ゴム事業の連結売上高は9億4千7百万円（前年同期比13.3%増）となりました。セグメント利益は1億円（前年同期比42.9%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債および純資産の状況

当中間連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べて4億7千6百万円増加し、97億7千5百万円となりました。その主な要因は、現金及び預金、商品及び製品、仕掛品が増加したことによるものであります。

負債は前連結会計年度末に比べて5億2千3百万円増加し、49億4千2百万円となりました。その主な要因は、電子記録債務及び長期借入金が増加したことによるものであります。

純資産は前連結会計年度末に比べて4千6百万円減少し、48億3千3百万円となりました。その主な要因は、利益剰余金が増加したものの、為替換算調整勘定の減少によるものであります。

また、当社グループでは各事業の受注状況に基づき、生産能力を検討し設備投資を実施、また新たな事業分野への研究開発投資を積極的に実施しております。その必要資金については財政状態の良化を鑑みながら、主に売上代金及び金融機関からの借入金による調達を基本としております。

なお、当中間連結会計期間末における借入金及びリース債務を含む有利子負債の残高は22億3千8百万円となっております。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物の期末残高は、前中間連結会計期間末に比べて1億1千5百万円増加の15億1千1百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは4億4千3百万円の収入（前年同期は1億4千6百万円の収入）となりました。

これは主に、棚卸資産の増加額2億1千8百万円（前年同期は3千8百万円の減少）があったものの、税金等調整前中間純利益1億2千4百万円（前年同期は6千7百万円の純損失）、減価償却費2億3千3百万円（前年同期は2億3千8百万円）、仕入債務の増加額1億5千6百万円（前年同期は3千4百万円の減少）によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、3億4千1百万円の支出（前年同期は4億3千9百万円の支出）となりました。

これは主に、定期預金の払戻による収入2億6千6百万円（前年同期は2億8千1百万円の収入）があったものの、定期預金の預入による支出2億4千1百万円（前年同期は2億4千6百万円の支出）、有形固定資産の取得による支出3億8千3百万円（前年同期は4億7千8百万円の支出）等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは2億5千1百万円の収入（前年同期は2億4千7百万円の収入）となりました。

これは主に、長期借入金の返済による支出2億9千8百万円（前年同期は4億5百万円の支出）があったものの、長期借入れによる収入6億円（前年同期は4億円の収入）等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年5月14日に公表しました「2025年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」の通期の連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

3. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,968,019	2,234,498
受取手形及び売掛金	1,650,510	1,602,624
電子記録債権	283,258	314,030
商品及び製品	412,609	506,485
仕掛品	416,620	492,575
原材料及び貯蔵品	211,498	245,781
その他	132,930	88,138
貸倒引当金	△1,500	△1,500
流動資産合計	5,073,948	5,482,635
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,094,545	1,099,734
機械装置及び運搬具（純額）	1,322,999	1,381,847
土地	827,533	827,533
その他（純額）	241,268	264,370
有形固定資産合計	3,486,347	3,573,485
無形固定資産	41,799	35,732
投資その他の資産		
その他	695,892	683,111
貸倒引当金	△440	△440
投資その他の資産合計	695,452	682,671
固定資産合計	4,223,598	4,291,890
繰延資産	1,465	1,296
資産合計	9,299,013	9,775,822
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	334,798	363,778
電子記録債務	453,016	575,302
短期借入金	800,000	800,000
1年内返済予定の長期借入金	500,896	525,339
未払法人税等	17,127	38,126
偶発損失引当金	34,513	—
その他	700,326	731,183
流動負債合計	2,840,677	3,033,730
固定負債		
長期借入金	587,548	865,086
役員株式給付引当金	11,205	14,733
退職給付に係る負債	945,104	981,085
その他	34,035	47,556
固定負債合計	1,577,892	1,908,461
負債合計	4,418,570	4,942,191

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	516,870	516,870
資本剰余金	462,350	462,350
利益剰余金	3,417,496	3,460,658
自己株式	△33,646	△33,646
株主資本合計	4,363,069	4,406,231
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	99,709	109,847
為替換算調整勘定	303,336	209,340
退職給付に係る調整累計額	114,327	108,211
その他の包括利益累計額合計	517,373	427,399
純資産合計	4,880,443	4,833,630
負債純資産合計	9,299,013	9,775,822

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	3,694,841	3,885,202
売上原価	2,976,303	2,943,764
売上総利益	718,538	941,438
販売費及び一般管理費	767,533	819,206
営業利益又は営業損失(△)	△48,995	122,231
営業外収益		
受取利息	1,276	2,699
受取配当金	2,879	2,873
雑収入	4,957	8,384
営業外収益合計	9,113	13,957
営業外費用		
支払利息	3,946	7,808
雑支出	14,053	9,311
営業外費用合計	18,000	17,119
経常利益又は経常損失(△)	△57,882	119,068
特別利益		
受取保険金	13,720	—
偶発損失引当金戻入額	—	10,947
特別利益合計	13,720	10,947
特別損失		
固定資産売却損	1,063	—
固定資産除却損	5,267	5,756
減損損失	3,300	—
偶発損失引当金繰入額	13,395	—
特別損失合計	23,027	5,756
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	△67,189	124,259
法人税等	19,020	35,164
中間純利益又は中間純損失(△)	△86,210	89,095
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△86,210	89,095

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益又は中間純損失 (△)	△86,210	89,095
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12,112	10,137
為替換算調整勘定	129,246	△93,995
退職給付に係る調整額	△3,166	△6,115
その他の包括利益合計	113,967	△89,974
中間包括利益	27,757	△878
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	27,757	△878

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	△67,189	124,259
減価償却費	238,084	233,673
減損損失	3,300	-
偶発損失引当金の増減額(△は減少)	△24,742	△34,513
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	16,008	33,073
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	3,397	3,528
受取利息及び受取配当金	△4,155	△5,572
支払利息	3,946	7,808
有形固定資産売却損益(△は益)	1,063	-
有形固定資産除却損	5,267	5,756
補助金収入	△491	△112
売上債権の増減額(△は増加)	110,578	△1,778
棚卸資産の増減額(△は増加)	38,440	△218,551
仕入債務の増減額(△は減少)	△34,411	156,936
その他	△128,048	152,566
小計	161,049	457,075
利息及び配当金の受取額	3,536	3,977
補助金の受取額	491	112
利息の支払額	△5,179	△7,808
法人税等の還付額	-	8,234
法人税等の支払額	△13,046	△18,069
営業活動によるキャッシュ・フロー	146,850	443,523
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△246,300	△241,750
定期預金の払戻による収入	281,300	266,400
有形固定資産の取得による支出	△478,372	△383,886
有形固定資産の売却による収入	400	-
無形固定資産の取得による支出	△1,280	△1,105
投資有価証券の取得による支出	△618	△641
その他	5,112	19,304
投資活動によるキャッシュ・フロー	△439,758	△341,677
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	300,000	-
長期借入れによる収入	400,000	600,000
長期借入金の返済による支出	△405,953	△298,019
配当金の支払額	△45,683	△46,213
その他	△1,055	△4,173
財務活動によるキャッシュ・フロー	247,308	251,594
現金及び現金同等物に係る換算差額	54,845	△47,460
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	9,246	305,979
現金及び現金同等物の期首残高	1,386,339	1,205,319
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,395,586	1,511,298

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間（自2024年4月1日 至2024年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	工業用ゴム 事業	医療・衛生用ゴム 事業	合計
売上高			
日本	2,204,580	616,183	2,820,763
アジア	596,042	219,268	815,310
北米	44,776	-	44,776
ヨーロッパ	12,566	1,424	13,990
その他	-	-	-
顧客との契約から生じる収益	2,857,965	836,876	3,694,841
その他の収益	-	-	-
外部顧客への売上高	2,857,965	836,876	3,694,841
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-
計	2,857,965	836,876	3,694,841
セグメント利益	19,408	70,286	89,695

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

利益	金額（千円）
報告セグメント計	89,695
全社費用（注）	△138,690
中間連結損益計算書の営業損失	△48,995

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎的研究費及び提出会社の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当中間連結会計期間（自2025年4月1日至2025年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	工業用ゴム 事業	医療・衛生用ゴム 事業	合計
売上高			
日本	2,318,232	689,431	3,007,664
アジア	536,128	258,333	794,462
北米	71,188	－	71,188
ヨーロッパ	11,887	－	11,887
その他	－	－	－
顧客との契約から生じる収益	2,937,437	947,765	3,885,202
その他の収益	－	－	－
外部顧客への売上高	2,937,437	947,765	3,885,202
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－
計	2,937,437	947,765	3,885,202
セグメント利益	140,267	100,430	240,698

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

利益	金額（千円）
報告セグメント計	240,698
全社費用（注）	△118,466
中間連結損益計算書の営業利益	122,231

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎的研究費及び提出会社の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。